

# TSY MANINONA

JOURNAL SUR MADAGASCAR



木川 莉江 KIGAWA RIE

JICA青年海外協力隊として  
マダガスカルのアンビマナンブラで活動中  
大塚製薬株式会社より現職参加  
(2021-3次隊/コミュニティ開発)

## JICA海外協力隊 マダガスカル派遣20周年記念行事

12月10日、青年海外協力隊の派遣開始20周年を記念し、首都アンタナナリボのソアラノ駅でお祭りが行われました。マダガスカルにおける累計派遣隊員数は240名、派遣中隊員は28名です。これまでの20年、協力隊に関係して下さった皆様の方に「感謝」を伝えることがテーマでした。

第一部のセレモニーでは、首相や日本国大使などご出席いただき、テレビ取材も入っており、少し緊張感のあるなか開始。冒頭の先輩隊員のマダガスカル語でのスピーチがとてまかつよかったです。その途中で、隊員全員と日本語を学習しているマダガスカル人も一緒に「世界に一つだけの花」を歌いました。ステージから観客席で涙ぐんでいる人が見えて、気持ちが伝わったように感じ、私も泣きそうになりました。歌詞の通り、一人ひとり違うなかで一番になる必要はなく、自分にしかできないこと・できることをこれからも地道に一生懸命やっっていこうと改めて思いました。



“

## Manasa tanana

マダガスカル語で「手を洗う」という意味  
 みんなでManasa tananaの歌を歌った日は  
 おやつの前にしっかり手を洗えます  
 問題はその次の日！継続することが難しい、、  
 根気強くManasa tananaの必要性を伝えていきます！



## 20ÈME ANNIVERSAIRE DU PROGRAMME JOCV À MADAGASCAR

第二部は隊員主催の活動紹介イベントでした。ステージ・体験ブース・展示を設けて、隊員の活動や日本の文化について知ってもらえるような内容で用意。ステージでは、日本の名曲マツケンサンバから始まり、上を向いて歩こうの合唱、隊員と配属先との対談、子どもたちのソーラン節、ラジオ体操、お餅つきなどがあり、ずっと大盛り上がりでした。体験ブースも裁縫や習字や日本の遊びなど盛り沢山。私は日本語ブースを担当していました。

参加してくれた同僚・友達、テレビ放送を見てくれたご近所さんから沢山の反響があり、テーマである「感謝」を伝えることができたのではないかと思います。

私自身も20周年という貴重な節目にこうして参加できたこと、本当に嬉しく有り難く思います。今後もマダガスカルで青年海外協力隊の派遣が続き、更に素敵な歴史が積み上がっていきますように、。

### 学校での手洗い啓発活動

今回のイベントに合わせてマダガスカルにお越し頂いた、JICA青年海外協力隊事務局担当の宮崎理事が、学校での手洗い啓発活動の視察に来てくださいました。子どもたちと手洗いの歌を披露し、手洗いのクイズ、実際にみんな手洗いをし「あんこのきなこまぶし」を食べてもらいました。この機会を通して、子どもたちの手洗いへの意識が益々向上したと思います。更に定着していくよう活動を続けていきます！